

	心をこめて精一杯活動実施中
	加古川市立 
	志方東小学校
	令和5年度 学校便り 第39号 R6.2.15 発行

学校評価 児童・保護者評価の結果

1 月末に実施しました学校評価について、結果をまとめましたのでお知らせいたします。なお、より詳細な結果につきましては、学校運営協議会委員による第三者評価の後、後日学校ホームページに掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

学校教育目標「こころ豊かな たくましい子」

学ぶ喜び(基礎基本の定着・思考力、判断力、表現力の育成・家庭学習の定着)

児 童	保 護 者
・学校へ行くのが楽しい→93%	・学校に行くのが楽しそうである→97%
・学校の勉強はよくわかっている→93%	・学校の授業はよくわかっている→82%
・家で宿題や自分の勉強をきちんとしている→95%	・家庭での学習習慣が身についている→73%



心の教育(道徳、人権教育の推進・特別活動の充実・読書活動の推進)

児 童	保 護 者
・最後まであきらめずにやりとげようとしている→98%	・している→80%
・元気よくあいさつができています→95%	・できている→87%
・行事を精一杯やった→100%	・学校行事は充実していた→97%
・みんなに優しくしたり、困っている人を助けた→93%	・思いやりの心や親切な感情が育っている→95%
・本を読むことは好きだ→82%	・本を読むことへの関心は高い→48%

開かれた学校づくり(協働・連携・学校運営協議会の活用)

児 童	保 護 者
・L-Gate や Google クラスルームを開いて学校からのお知らせを確認している→96%	・学校 HP や各種便り等の情報発信により開かれた学校づくりができている→94%
・先生と保護者は協力していると思う→93%	・連携が図れている→90%
・志方3小学校でする行事は楽しい→98%	・活動を継続する→92%

◎加古川市内で一番人数の少ない学校ですが、コロナ以降、この最小集団を活かした学校運営に何度も助けられました。他の学校なら経験できないであろう貴重な体験や多様な行事がいつも楽しみでした。先生方のご尽力や地域の方々のご協力のおかげで、実り多い小学校生活を送れたことに深く感謝しています。(保護者自由筆記欄より)

命の教育(体力づくりの習慣化・防災教育・保健指導・食育指導)

児童

保護者

・健康や安全に気をつけて学校生活を送れた
→98%

・安全教育に取り組んでいた→96%

いじめ防止対策プログラム(安心安全な学校づくり)

児童

保護者

・先生は、困ったときに話を聞いてくれる→100%
・先生は、いじめのないクラスを作ろうと
していると感じる→100%

・相談等に適切に応じている→93%
・一人一人を大切にされた指導を行って
いる→93%

スクールガイド(令和5年度新規)についての意見

- 1年間の大きな予定がわかるし、服装のことなども色々書いてあり、我が家では大活躍で助かっている。 ○見やすくわかりやすい。よく見るところに置いている。
 - あるといい。いろいろな情報が入ってきてとても便利です。
 - 今後も作ってほしいです。行事が一覧であるので分かりやすいし、校時表や非常時についてもわかりやすいです。 ○すごく便利で冷蔵庫に貼っています。今後も欲しいです。
 - ◇1枚でほしい情報が網羅されてありがたい。1~6年での学年ごとの行事予定が載っていると、さらに便利かも。
 - ◇土曜日の参観がある時、午前授業か午後まであるのかがわかると嬉しいです。
 - ▲子どもが見ているようですが、私は必要ないと思います。
- ★ご意見を参考にしながら改善点を検討し、令和6年度版を作成したいと思います。



◎ 成果と課題

(児童、保護者とも回答率 100%)

- ・「学校へ行くのが楽しい」と感じている児童の割合が 93%、「勉強はよくわかっている」と答えた児童の割合も同様で、ほとんどの児童が充実した学校生活を送っていると考えられる。一方、楽しいと感じていない割合と、勉強がよくわかっていないと感じている児童の割合も同様である点から、学習でのつまずきを感じられぬ大きな要因となっている可能性がある。全児童に「学ぶ喜びを感じさせる」を念頭に、令和4年度から研究推進している「加古川型スマート探究学習」(協同的探究学習とICT活用の融合)を、令和6年度も継続して教職員の資質向上に努め、個別最適化されたわかりやすい授業を展開する。
 - ・家庭学習について、「きちんとしている」と答えた割合が児童と保護者では、かなり認識の差がある。これについては、毎年の課題であり、児童の家庭学習が形だけに陥ることなく、学習の質をあげていく指導を今後も継続していく。
 - ・「やりぬく子」について、児童の98%は「最後まであきらめずにやりとげようとしている」と答えているのに対し、保護者の割合は80%と、昨年度同様認識に差がある。今年度から追加した2学期末の懇談や教育相談などを活用して家庭との情報交換を密にし、児童理解を深められるよう努めていく。
 - ・上記のとおり、「先生は、困ったときに話を聞いてくれる」「いじめのないクラスを作ろうとしていると感じる」という質問に対し、「そう思う」と答えた児童の割合が、ともに100%であったことから、「命」をキーワードにした安心安全な学校づくりが浸透していると考えられる。
- ★結果を見ると、保護者より児童の「そう思う」と答えた割合が多い中、「学校に行くのが楽しそうである」という質問に対し、児童より保護者の割合が多かったことに驚くとともに、大変ありがたいことだと受け止めました。日頃の保護者の皆様方のご協力、ご支援あつてのことと深く感謝しております。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

